

ChatGPTを使った 物件検索LINEボット

リーダー
サブリーダー
メンバー

糸数
深水
大場

斎藤 坂本 安村 中山 布川





ジェイ・エス・ビー グループ

全てのお客様と
共に歩む夢の実現

学生マンションの先駆者として、
ジェイ・エス・ビーは新しい企業価値の創造を目指します。



課題内容

ジェイ・エス・ビーが 行うべき 社会課題を解決する プロダクトの考案・実装



企業へのヒアリング

物件の評価情報の
入力作業のコストを
減らしたい

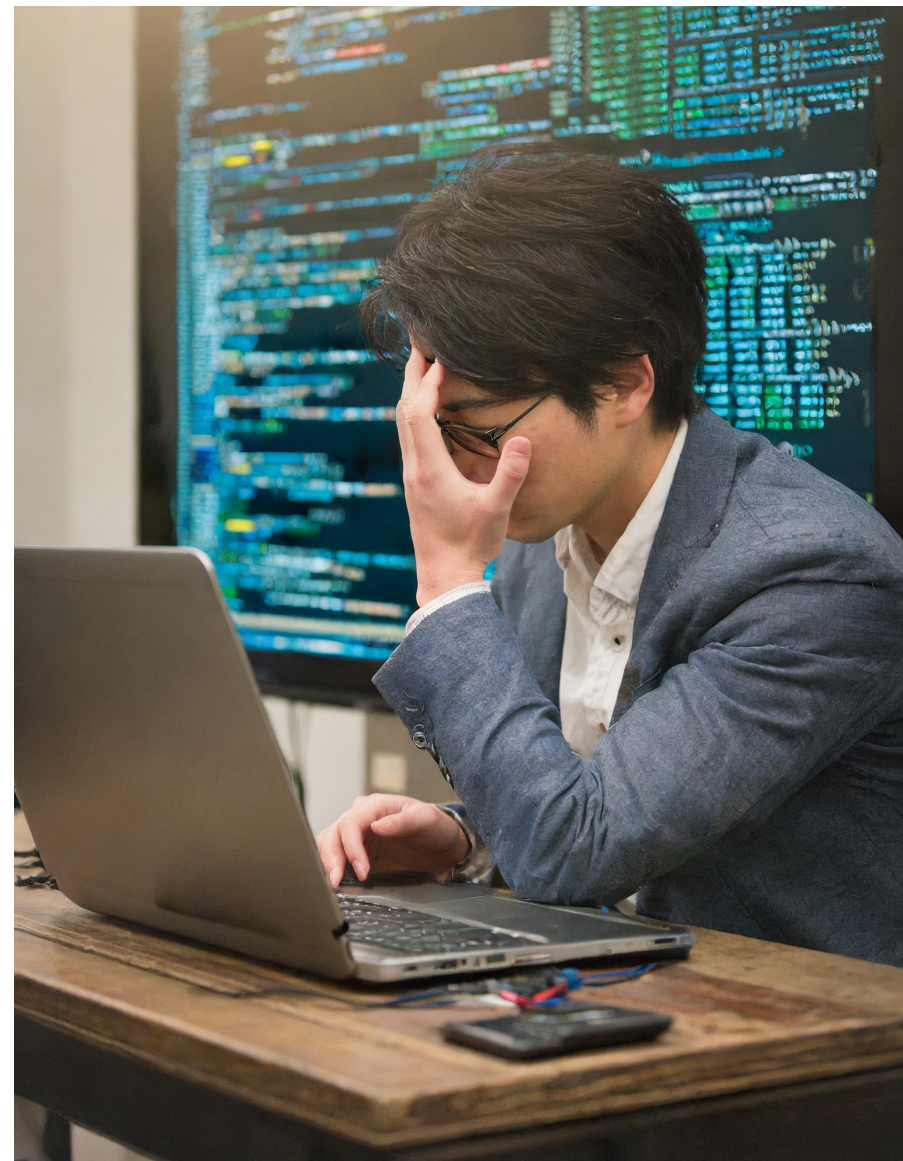
支店長が一人で作業
をしている



データ利活用の問題点

顧客情報や案件などの
情報の管理が管理者に
集中している

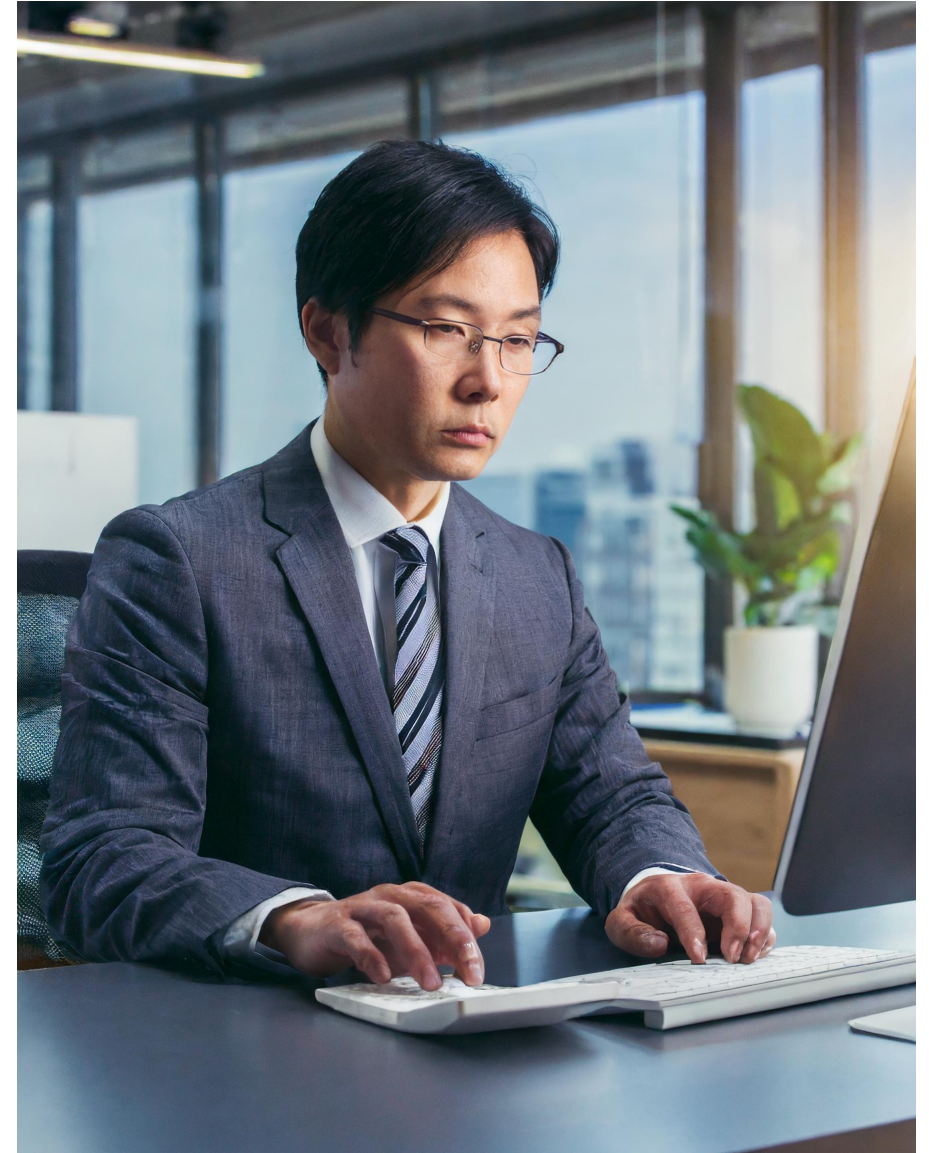
管理者の作業時間
労働時間の長時間化



従来のレコメンドシステムの コスト計算

- ・ 1店舗1レコメンドシステム
- ・ 人カレコメンドの作業時間: 1時間
- ・ 期間: 3ヶ月間(専門学校向け11月~2月)
- ・ 月収 21万(新卒)
- ・ 時給 1313円

フェルミ推定やカスタマージャーニーをもとに算出



トータルコスト

1ヶ月あたりのレコメンドシステムのコスト:
1313(時給) * 20(労働日) =
26,260 * 3ヶ月 =
78,780 * 85店舗 = 6,696,300円

3ヶ月で全店舗合わせて

6,696,300円

のコストがかかっている



プロダクトの方向性

**人手不足
人材不足
の問題を
解決する**



学生マンション事業で実際に使用されている 基幹システムのクローズドデータ

school_root	学校経路マスタ／各物件から大学までの経路情報
transportation	交通情報マスタ／各物件から最寄りの交通機関までの距離情報
peripheral_facility	周辺設備情報マスタ／各物件の周辺の店舗や施設情報
school	学校マスタ／全国の学校（大学・専門学校等）の情報＋担当店舗情報
property	物件マスタ／物件ごとの築年数や構造などの建物の特徴を示す情報
utility	物件設備マスタ／各物件の設備情報
train_room_basic_information _specific_area	部屋情報マスタ①／各物件内の部屋単位の情報 推定対象となる物件以外（ <u>特定地域※のみ</u> ）の情報 目的変数「current_rent（賃料）」の値も記載
room_basic_information _other_area	部屋情報マスタ②／各物件内の部屋単位の情報 推定対象となる物件以外（ <u>特定地域※を除く</u> ）の情報 目的変数「current_rent（賃料）」の値も記載
test_room_basic_infomation	部屋情報マスタ③／各物件内の部屋単位の情報 testファイルのため、 <u>推定対象とする「特定地域の特定物件」のみ</u> の情報 目的変数「current_rent」の値は削除

大量のデータを
活用できる
チャットボットで
自動応答させる

コストを削減

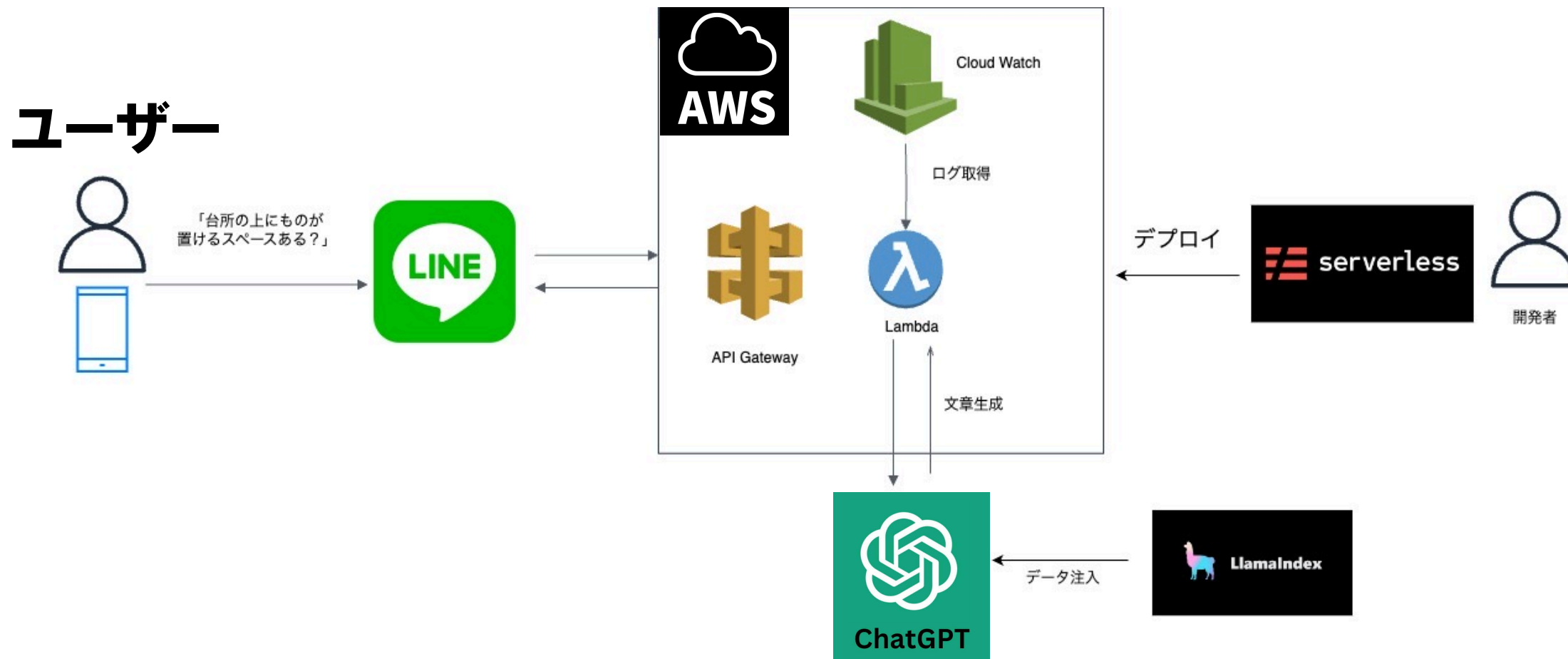
社員の働き方改善

私たちの提案は

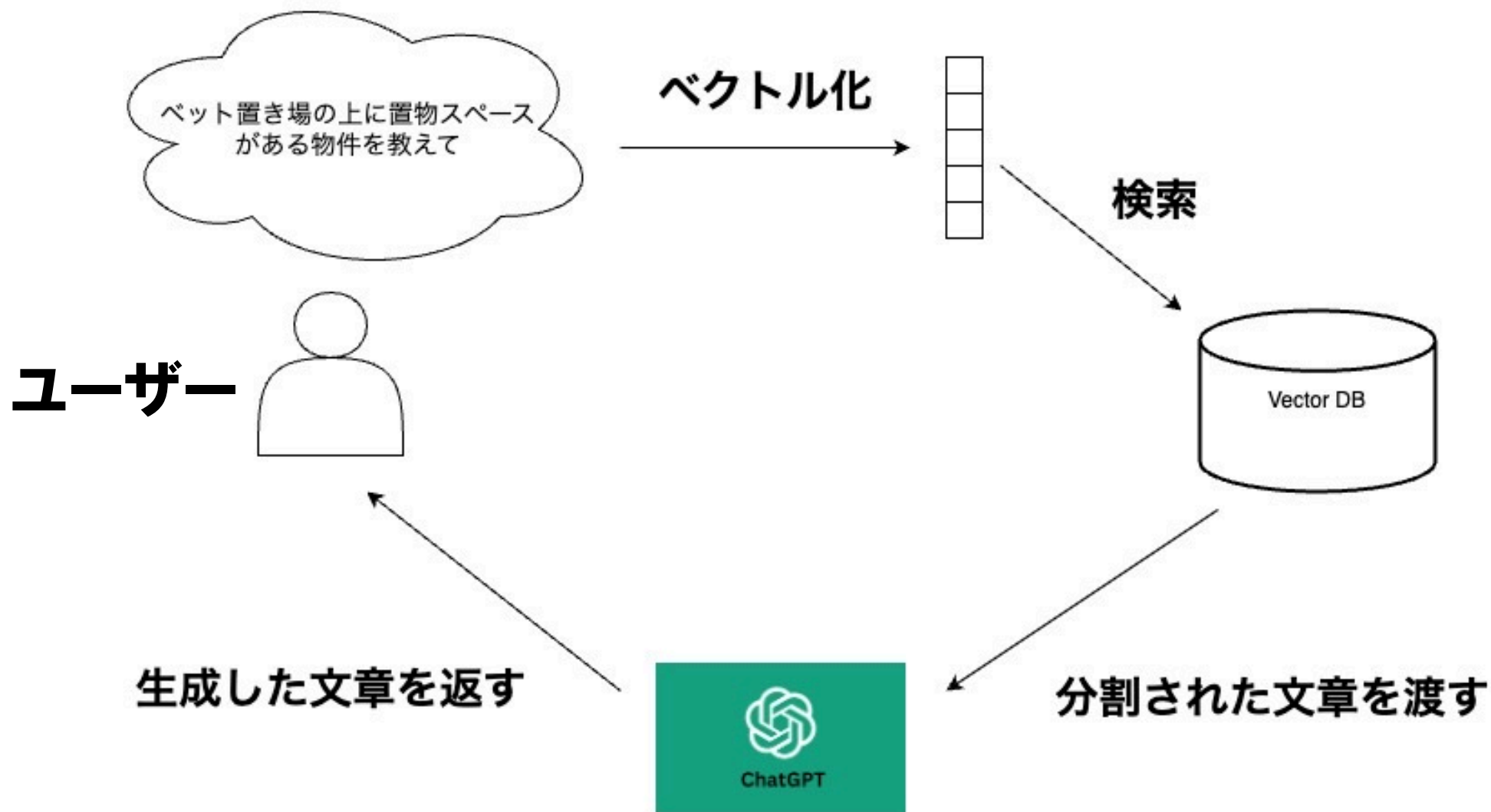
ChatGPTを使った 物件検索LINEボット



プロダクト全体の概要



物件検索の仕組み



デモ動画

1. ユーザのニーズを入力
2. ChatGPTから入力したニーズに応えた情報が返ってくる
3. URLが記載されているので
物件情報ページに飛ぶ
4. 希望の内容か確認ができる

LINEで会話するように入力する
だけで知りたい情報が知れる



プロトタイプモデル作成から

学校に紐づく物件情報を
チームメンバーで確認しながら、
物件特有のデータを手作業で
入力したため時間がかかった

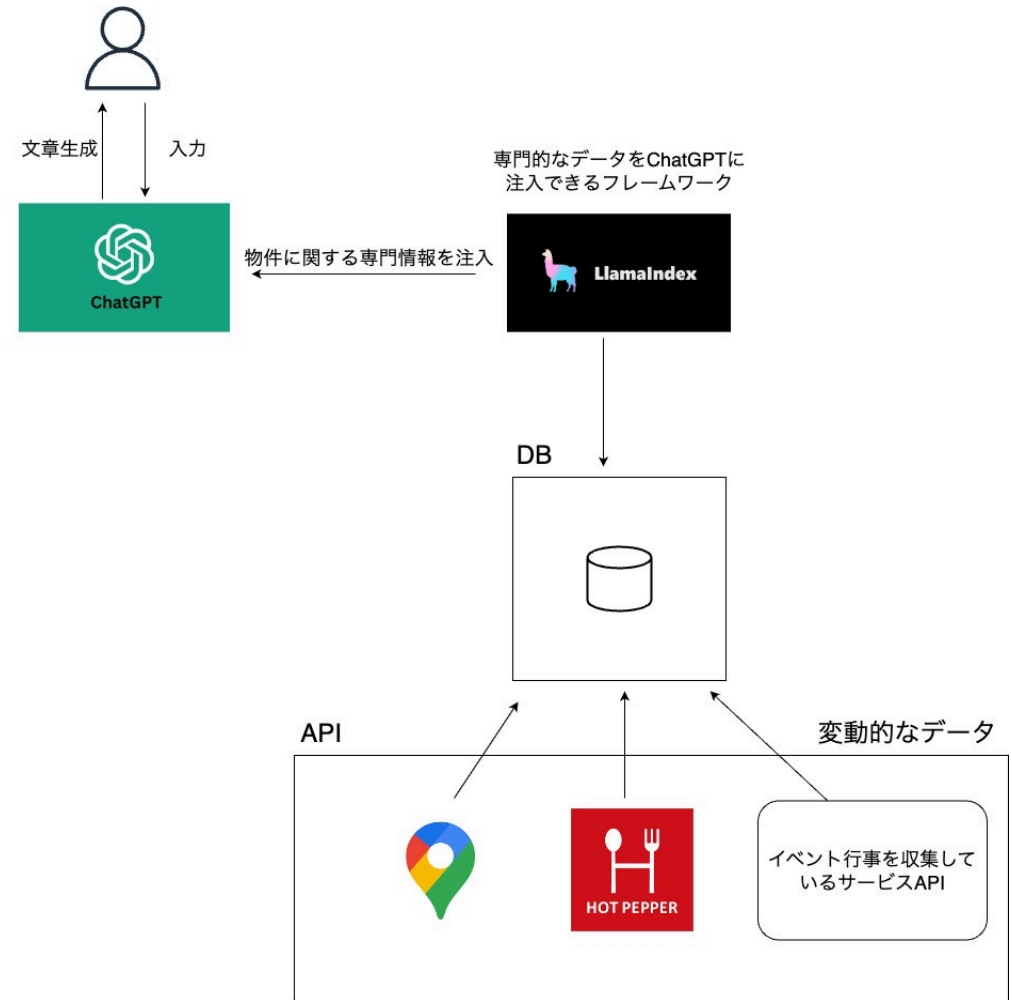


改善点として

外部の変動的なデータ。
新しくできたコンビニや、
スーパー、コインランドリーなど
日常で変化するデータを
データベースで持つ

多様化した物件検索
が実現可能

ユーザー





事業化を見越した評価をいただく